

## 日本語の敬語とタイ語の敬語

ターゲ・ロッサディー

### 0. はじめに

現代の日本社会では、国際化、少子高齢化など様々な変化が明らかに見られるが、それだけではなく、コミュニケーションにおいて相手を大切にしたいという思いやりの心を込める敬語の使い方も問題になっている。「敬語」と聞くと、「丁寧な言葉遣い」というだけでなく、「めんどくさいきまり」と考える場合もあるようだ。ただ「丁寧な言葉遣い」としか思っていない人は当然多いが、敬語を使うのはめんどくさいと思っている人も少なからずいる。いくら言葉遣いを覚えても、心がこもっていないと意味がなく、全然相手に通じないと言われることもあるが、それはどういうことだろうか。

敬語は日本語にあるだけではなく、タイ語にも、またいろんな国の言語にもある。しかし、タイ語の場合には日本語の敬語と同じように「コミュニケーションにおいて相手を大切にしたいという思いやりの心を込める」と単純に言えるのかどうかは疑問だ。タイでも普通部下はタイ人の上司に対して敬意、丁寧の気持ちを表すタイ語を使うが、大学で日本語を専攻して卒業したタイ人でも日本の会社のオフィスや現場の工場で働いていて、日本人の上司に対してなかなかうまく敬語が使えない。敬語をよく知らないためではなく、日本語の敬語にはいろんな表現があるため、迷って使いこなせないのだ。敬語を使うことは日本人には難しくないが、タイ人にとっては大変難しい。タイ人が日本語の敬語をよく知っていても、場面に合わせて正しく使っているかどうかは分からない。

#### 会社における日本人とタイ人の会話

社長：美咲さん、次の会議の内容を見ましたか。

美咲：あ、申し訳ありませんが、まだ拝見していません。

社長：マーニットさんは。

マーニット：はい、見ました。

この場面で、マーニットさんは美咲さんの使った敬語を知っていて、それを使うかどうか迷っている可能性がある。日本語を学んでいるタイ人の学生はみんな日本語の敬語を勉強している時、どれをいつ使えばいいのだろうかとよく考え込む。そこで、本研究では日本語の敬語をよく理解するために、タイ語の敬語と比べながら考えてみたい。

## 1. 一般的な敬語の見方 (注1)

### A. 尊敬語 (注2)

相手や話題に登場する人物について、また、その人側の物や動作、状態などを高めて表現する。つまり、相手や相手に関係している事柄を敬って言い表す言葉づかいである。

標準動詞	尊敬語
行く・来る	いらっしゃる
いる	いらっしゃる
食べる・飲む	召し上がる
寝る	お休みになる
死ぬ	お亡くなりになる
言う	おっしゃる
見る	ご覧になる
着る	お召しになる
する	なさる
知っている	御存じだ

＊「お／ご」を語頭につける。原則として和語には「お」、漢語には「ご」をつける。

和語の例：お話 お考え お美しい おすこやか

漢語の例：ご住所 ご意見 ご入場 ご新居 ご到着

### B. 謙譲語

自分を低めることによって、相手方の人、聞き手を高め、敬意を表す。

標準動詞	謙譲語
行く・来る	うかがう、まいる
食べる・飲む	いただく
言う	申し上げる、申す
見る	拝見する
する	いたす

＊お／ご＋V/N（動作を表わす名詞＋する

例：お届けする、お迎えする。

＊動詞＋いただく

例：書かせていただく、渡していただきたい

### C. 丁寧語

話題がなんであるかには関係なく、目上に話す時に「です」「ます」「(で)ございます」を使う。「ございます」は「です」「ます」よりも丁寧な言い方である。

高い →高いです →たこうございます  
 美味しい→美味しいです→おいしゅうございます  
 暑い →暑いです →あつうございます  
 嬉しい →嬉しいです →嬉しゅうございます

#### D. 美化語

ものごとを上品に述べ、会話を滑らかにする言い方。女性が「お」「ご」をつけ、使うことが多い。相手の動作やものごとを敬う言い方でも、自分の動作を謙遜する言い方でも、相手に丁寧に述べたり丁寧に話したりする言い方でもない。

例：おかし お料理 ご飯など。

## 2. タイ人には日本語の敬語がどう見えるか

### (1) タイ語における敬意の表し方

タイ語は、内輪で使う言葉（普通）、非公式語、準公式語、公式語、儀式語の五つのレベルに分けられる。(注3)

		内輪で使う言葉 (普通)	非公式語	準公式語	公式語	儀式語
人称	あなた	(คุณ, แก) クン、ゲー	คุณ クン	คุณ クン	(คุณ, ท่าน) クン、タン	(คุณ, ท่าน) クン、タン
	私	ผม/ฉัน ポム/シャン	ผม/ฉัน ポム/シャン	ผม/ฉัน ポム/シャン	กระผม/ดิฉัน クラポム/ディシャン	ข้าพเจ้า カパチャウ
動詞	いる	อยู่ ユー	อยู่ ユー	อยู่ ユー	อยู่ ユー	อยู่ ユー
	来る	มา マー	มา マー	มา マー	มา マー	มา マー
	食べる	กิน ギン	ทาน ターン	ทาน ターン	รับประทาน ラップラターン	รับประทาน ラップラターン

タイ語で気をつけなければならないのは相手の呼び方だ。相手をお呼ぶ時、もし他のレベルの言葉を使えば、敬意を示さなかったことになり、無礼と見なされる。尊敬と謙遜の区別はない。

「クラブ」は文章の語尾につけ、男性が使う言葉であり、「カ」は文章の語尾につけ、女性が使う言葉である。これは英語の「Yes sir」、日本語の「はい」

のような意味と定義されている。どのようなレベルであっても、これをつけるとソフトな表現になり、礼儀正しいと見られる。

## (2) 日本語における敬意の表し方

「丁寧」と「尊敬」という概念はシンプルで、その違いも理解できるが、敬意・尊敬を表すために「丁寧形」を使っておかしいわけではない。「丁寧語・丁寧形」は敬語に含まれている。したがって、尊敬語の例として先に示した動詞と同じ場面で使える言葉をすべて並べると次のようになる。

標準形	丁寧形	尊敬語 1	尊敬語 1 丁寧形	尊敬語 2	尊敬語 2 丁寧形
行く	行きます	いらっしゃる	いらっしゃいます	行かれる	行かれます
来る	来ます	いらっしゃる	いらっしゃいます	来られる	来られます
いる	います	いらっしゃる	いらっしゃいます	おられる	おられます
食べる	食べます	召し上がる お食べになる	召し上がります お食べになります	食べられる	食べられます
飲む	飲みます	召し上がる お飲みになる	召し上がります お飲みになります	飲まれる	飲まれます
寝る	寝ます	お休みになる	お休みになります	寝られる	寝られます
死ぬ	死にます	お亡くなりになる	お亡くなりになります	亡くなられる	亡くなられます
言う	言います	おっしゃる	おっしゃいます	言われる	言われます
見る	見ます	ご覧になる	ご覧になります	見られる	見られます
着る	着ます	お召しになる	お召しになります	着られる	着られます
する	します	なさる	なさいます	される	されます
知っている	知っています	御存じだ	御存じです	知っておられる	知っておられます

日本語の教科書では「いらっしゃいます➡尊敬語」としか説明されないが、相手に敬意・尊敬を表そうとした時、使っていていいと考えられるものは上の表に示したように 6 つ～8 つある。しかし、これらの動詞をすべて学んだ後、どう使い分ければいいのかは説明されない。

同じ行為を意味する日本語の尊敬表現がこのようにいくつもあると、タイ人は自然と五つのレベルがあるタイ語の敬語の選び方に重ねて理解しようとする。

## (3) 不可解な「謙譲」

「尊敬」「丁寧」はどここの国の人も理解できる平易な概念だが、「謙譲」は違う。その説明に使われる論理が理解できないわけではないが、タイ語にはこのような表現がない、というよりそのような姿勢、態度の取り方が存在しない。

目上の人、上司、高貴な人に対して下位の者が敬意を示すのは当然だが、その場合、敬意を示された相手はその上下関係に応じた言葉を使う。ところが、日本語では「偉い人」が自分より下位の人に対して「へりくだる」ことがよくある。敬意を示さなくてもいいはずの人に敬意を示し、「尊敬語」さえ使うのだから驚く。

#### (4) 二重敬語はどうしていけないのか？

二重敬語とは一つの言葉に敬意を表す言葉を二つ以上つけてしまう「誤り」だ。「おっしゃる」「お越しになる」「おいでになる」「ご覧になる」などはすでに敬語になっており、それで十分なのだが、さらに「おっしゃられる」のように「～れる」という尊敬表現を加えてしまう人が多い。

実際は「誤り」とまでは言いにくいものが多いのだが、現代日本語においては、通常、過剰な敬語としてふさわしくないとされている。親しい間柄で使う分にはまったく問題ないようだが、ビジネスの場、公式の場など、また特に文章語としては使わない方が無難だと言われる。

正しい敬語の使い方を教える本はいろいろ出版されているが、どの本を見ても「二重敬語」は重要な項目となっている。これは、日本人が二重敬語を使わないということを示すというより、むしろよく使っているということを示しているのだろう。

二重敬語を使ったからといって相手が不快に感じることはほとんどないと思えるが、回りくどい印象は与えてしまう。二重敬語を使う日本人はなぜこれを使おうとするのだろうか。敬語を使おうとする姿勢は素晴らしいのだが、「正しい敬語」を使えないとかえって印象を悪くしてしまう。しかし、テレビ番組、テレビニュース、ラジオ、映画、ドラマ、漫画などでもよく使われているため、それで「正しい」と思っている人はかなりいるようだ。

#### ＊よくある「二重敬語」の例と言い換えパターン

①「役職」＋「様」のパターン 例：「部長様」「部長」だけでいい。「部長」などの役職名は敬称なので「様」は付けない。「部長の W 様」は使える。

② ご覧になられますか？ (×) ご覧になりますか？ (○)

「ご覧になる」は「見る」という動詞が敬語形になったもののため、それだけでいい。また「社長がご覧になっている」は使ってはいけないと言われる。「いる」は敬語ではないからだ。敬語を末尾に使うって尊敬表現にするという方法もあり、「見ていらっしゃる」でもいい。

しかし、三重敬語と見える「ご覧になっていらっしゃる」「ご覧になっておられる」を使う人も少なくない。

③ お客様がお召し上がりになられた (×) お客様が召し上がった (○)

「召し上がる」は「食べる」の敬語形である。「召し上がられる」はよく使われているが、これも二重敬語でいけない。「お召し上がりになる」も二重敬語だが、現在ではかなり用いられる。長い間、多くの人が使ってきたものは慣用となり、誤用とは見なされなくなるとされている。

#### ＊＊慣例として定着している二重敬語

習慣または慣例として定着しているため、使用してもよいと考えられている。例えば、

お伺いする＝「伺う」＋「お～する」を二重に使用している。「お伺いいたす」「お伺い申し上げます」も同じだ。

日本人は正しくないと言われている二重敬語をどうして使うのだろうか。タイ人はそれが間違いと分かれば、二度と使わない。最近、若者しか使わない言葉がよく流行る。「正しくない言葉」でも、それを使うことで新たな世界が生まれることはある。

#### (5) 喧嘩で使われる敬語

たとえば夫婦ゲンカをしている夫と妻が、

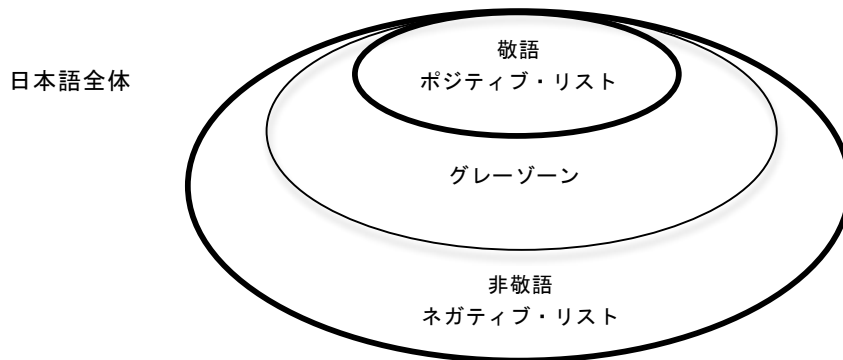
妻：「あーあーそうですか。それではどうぞご自由に、私はしばらく実家へ帰らせていただきます！」

夫：「どうぞどうぞごゆっくり、しばらくといわずいつまでもどうぞ」

というように敬語を使うことがよくあるようだが、これはなぜだろうか？日本語の敬語はただ「敬意・尊敬」を表すだけでなく、相手を「敬して遠ざける」使い方もする。「敬意を示さない⇒近い⇒親しい⇒好き」、「敬意を示す⇒相手と距離を置く⇒嫌い」ということになるようだ。

そのため、夫婦、親子、友人などの親しい間柄で敬語を使うと「あんたとは親しくしたくないんだよ。なれなれしくしないでくれ。シッシッ！」という意味になってしまうのだ。

### 3. 敬語についてのアンケート



敬語について書かれたどの本も当然のことだが、「これを使えば正しい」という敬語の「ポジティブ・リスト」のようなものを示そうとする。これに少数の「使ってはいけない」表現が「ネガティブ・リスト」として加えられるだけだ。どちらのリストもよくわかる。しかし、どこまでが敬語で、どこから非敬語になるのか、それはなかなか見えて来ない。そこで、この研究ではアンケート調査を行おうと考えた。対象としたのは広島大学の日本人の学生と教職員 100 名、広島大学の外国人留学生 100 名、タイで暮らしているタイ人 100 名である。日本人と留学生には 16 の設問、タイ人には 12 の設問を用意した。日本人と留学生には特に回答時間を指定せず、その場ですぐ回答してもらった。一方、タイ人の場合はメール、フェイスブックなどに添付して配布し、回答してもらった。

### (1) 敬意の対象

図1 男性（問8、9）

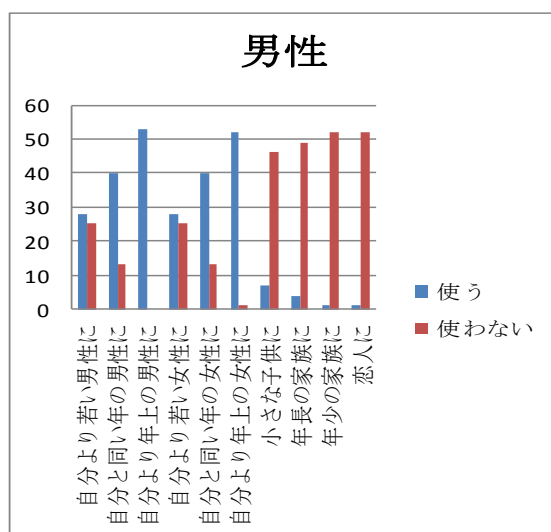
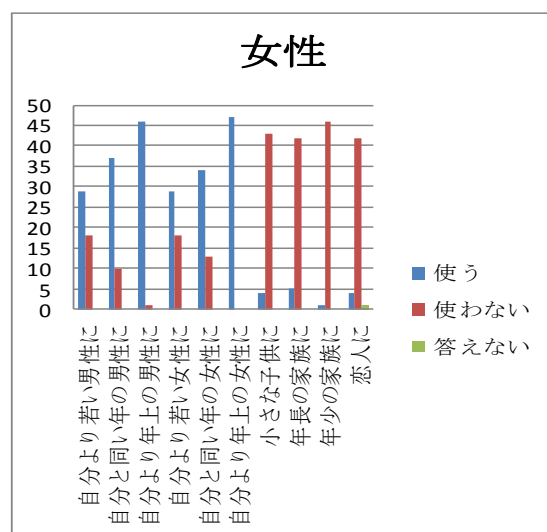


図2 女性（問8、9）



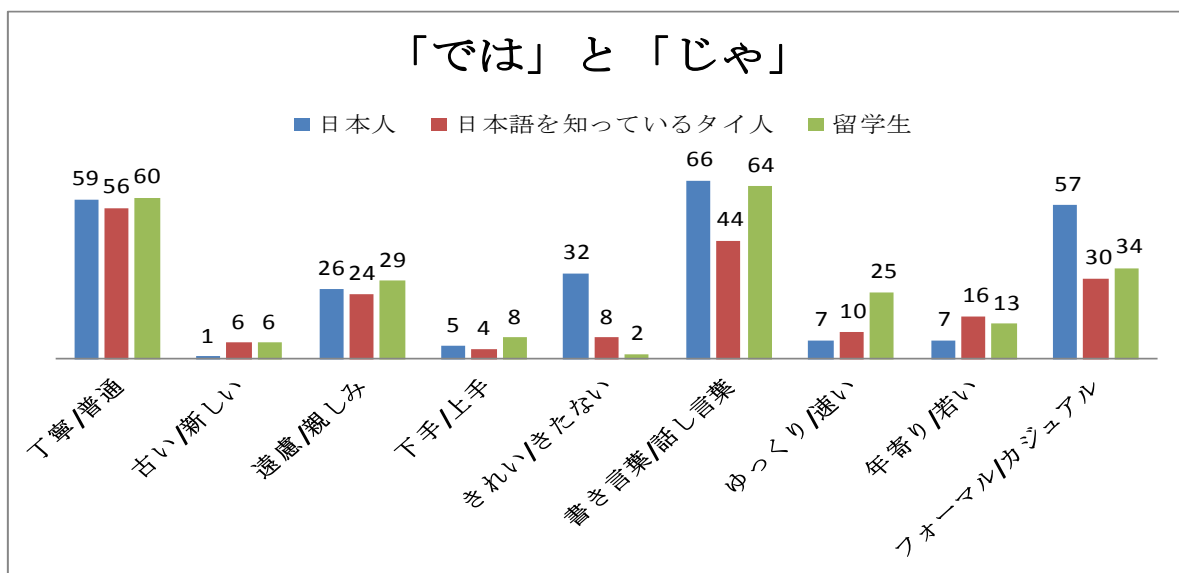
タイ語ではいつどこでどのレベルの敬語を使うかは客観的に決まる。男女で違ったりもしない。ところが日本語では男性と女性で、また人によって、そして時によ

って違う。そこで、日本人男性（53名）と日本人女性（47名）に、敬語をどのように相手に合わせて使うかについて質問した。図1と図2がその結果である。図1が示すように、自分より年上の男性に対して敬語を使わない人は一人もいない。また自分と同じ年の男性、自分より若い男性に対しても敬語を使う人は全員ではないが、少なくない。一般的に敬語は「目上の人に対して使う」とされているが、「目上ではない人」にも使うということだ。

女性は図2が示すように、だいたい男性と同じだ。そして、男性も女性も家族に対してはほぼ敬語を使わないのだが、使う人がいないわけではない。世間一般とは違う敬語の使い方も「家風」「個人の考え方」として認められているようだ。

## (2) 「では」と「じゃ」の違い

図3 「では」と「じゃ」（問12）



「じゃ」は「では」の発音がなまっただけ、どちらを使っても「意味は同じ」と言われる。日本語の教科書ではどちらか一つが使われ、両方出てくることはない。しかし、日本人は会話でこれらを使い分けているようだ。

そこで、その違いをどう感じているか質問してみた。

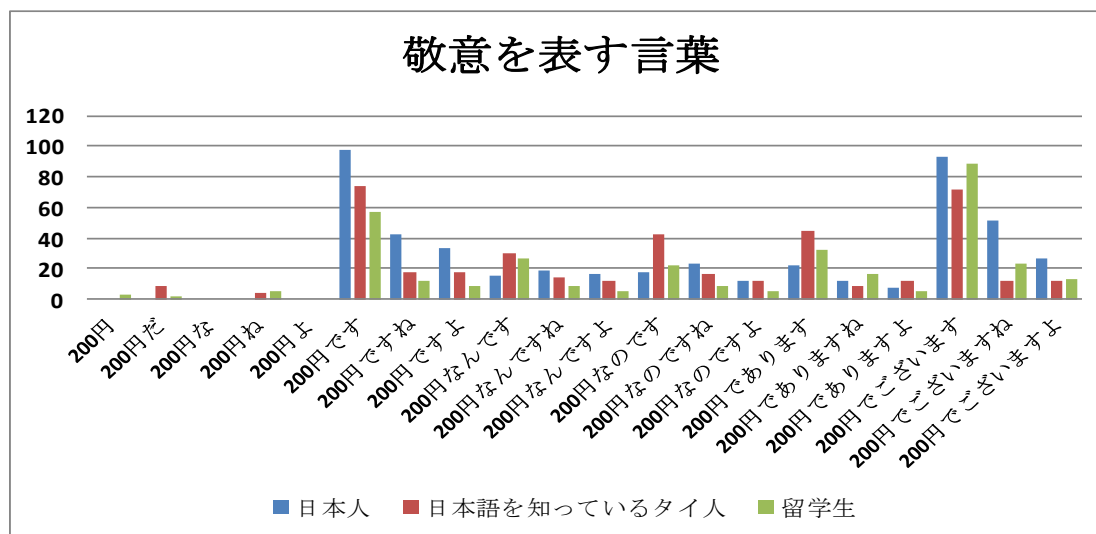
この使い分けは「敬語」に含まれていないが、「丁寧／普通」を選んだ人が多いことから、「敬語」に似た使い方がされていることが分かる。また、日本人の多くが「遠慮」「フォーマル」、さらに「きれい」と感じているということはこれらの選び方は「主観」を反映していることを示している。

一方、日本人と比べ、「きれい／フォーマル」と感じるタイ人、留学生はそれほどいない。「丁寧」と考えていても、それが「主観」と結びついていないのだろう。



(3) 「です」と「でございます」

図4 敬意を表す言葉（問5、12）



「です」は一般的に「丁寧語」とされ、もちろん敬意を表す。しかし、日本語の教科書では最初から「丁寧」と説明していながら、教科書の終わりのほうで「敬語」を勉強するとき、それには含めない。そのため、「です」が敬語に入るのか入らないのかは曖昧になる。また、このあとに「よ、ね」のような終助詞を付けたり、「なん（なの）」と強調したりすると意味、感じ方がどう変わるのかよく分からないまま適当に使うことが多い。そこで、さまざまな言い方で「敬意」がどのように感じられているかを知るためこのような質問を試みた。

シンプルな「です」「でございます」は敬意を表すと考えるが、「よ／ね」を付けたり、「なん（なの）」を付けると敬意を表さなくなると考えている回答者が少なくない。

ほぼ100%の日本人が「です」と「でございます」のどちらも敬意を表すと考えているのに対して、留学生は「です」より「でございます」の方が敬意を表すと考えている。「です」が敬語かどうか迷っている人がいそう。

また、「なのです」「であります」が敬意を表すと考えるタイ人は日本人と比べるとかなり多い。「強調⇒敬意の強調」と単純に考えた可能性がある。

また、「です」をつけずに「200円ね」が敬意を表すと考えている留学生とタイ人がいくらかいる。それは、言葉が丁寧でなくても表情や態度によって思いやりの気持ちを表せると考えるのだろう。

(4) 「否定」と丁寧

図5 どれがもっとも丁寧か（問7、11）

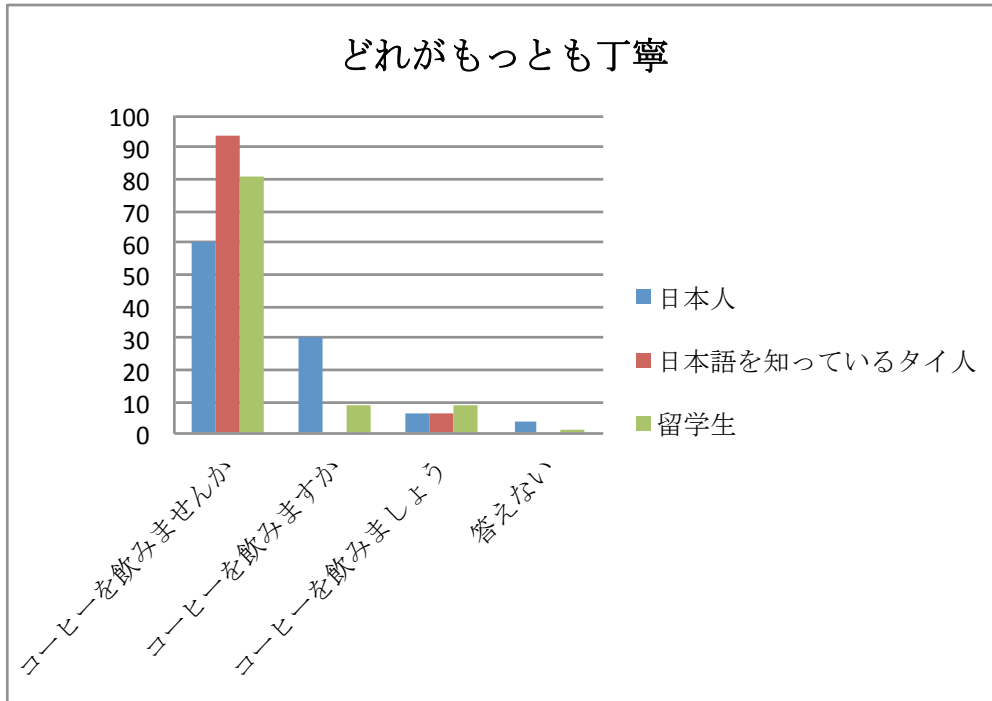
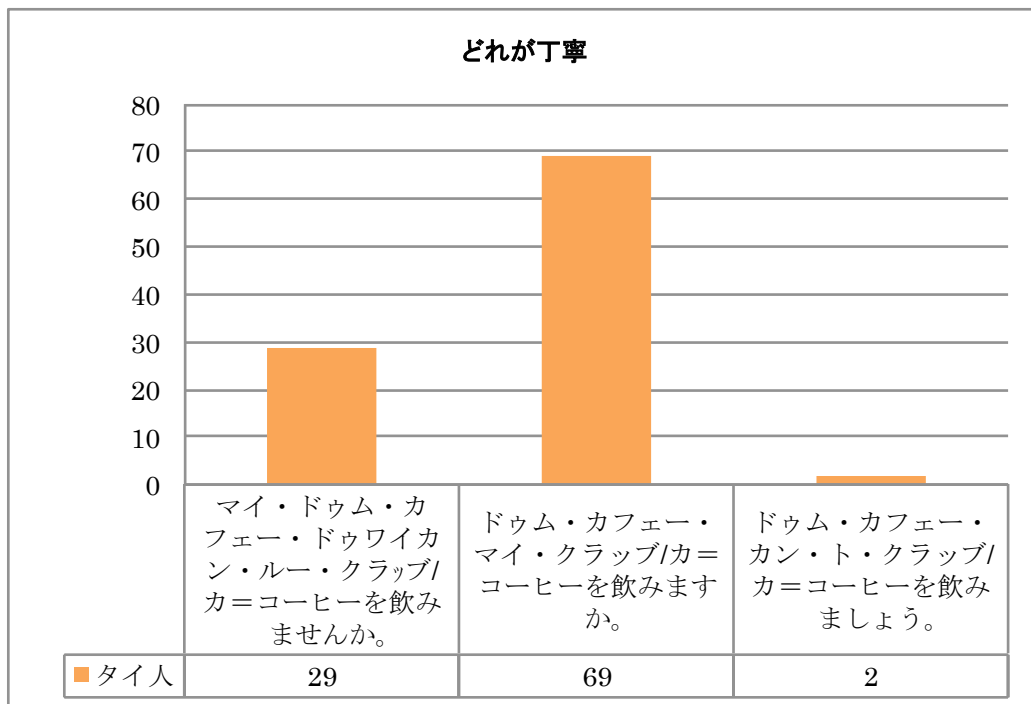


図6 どれがもっとも丁寧か（タイ語のバージョン）（問7）



「肯定の質問／否定の質問／質問せずに誘う」はどれを使っても同じように「丁寧」なはずだが、レベルの差のようなものを感じているかどうか知るためにこのような質問を試してみた。

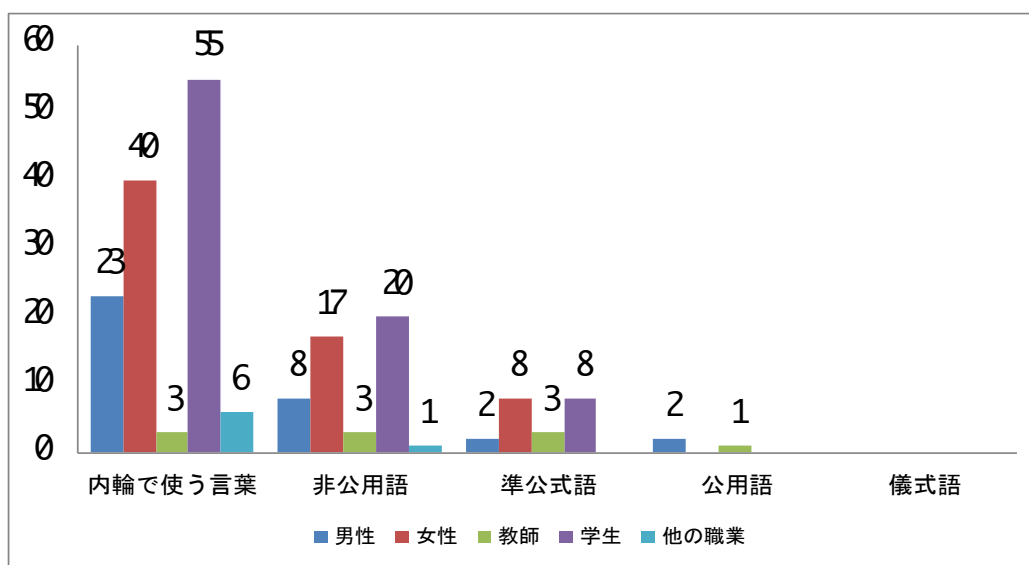
回答を見ると「否定の質問」がもっとも丁寧と考えられていることが分かる。

「質問をする」「否定文を使う」は「敬語」に含まれてはいないが、「敬意」の表現に大きく関わっていることが分かる。

これが日本語に特有かどうかを見るために、タイ語で「肯定の質問／否定の質問／質問せずに誘う」のどれがもっとも丁寧と感じられているかをタイ人に質問してみた。すると、「質問する」ことはそれだけで「丁寧」のレベルが上がることは日本語と変わらないが、「否定文」は日本語ほど「丁寧」を表さない。日本語は敬語でタイ語より「否定文」を確かに多用する。

### (5) 敬語の使用頻度

図7 タイ語のレベル（問3）

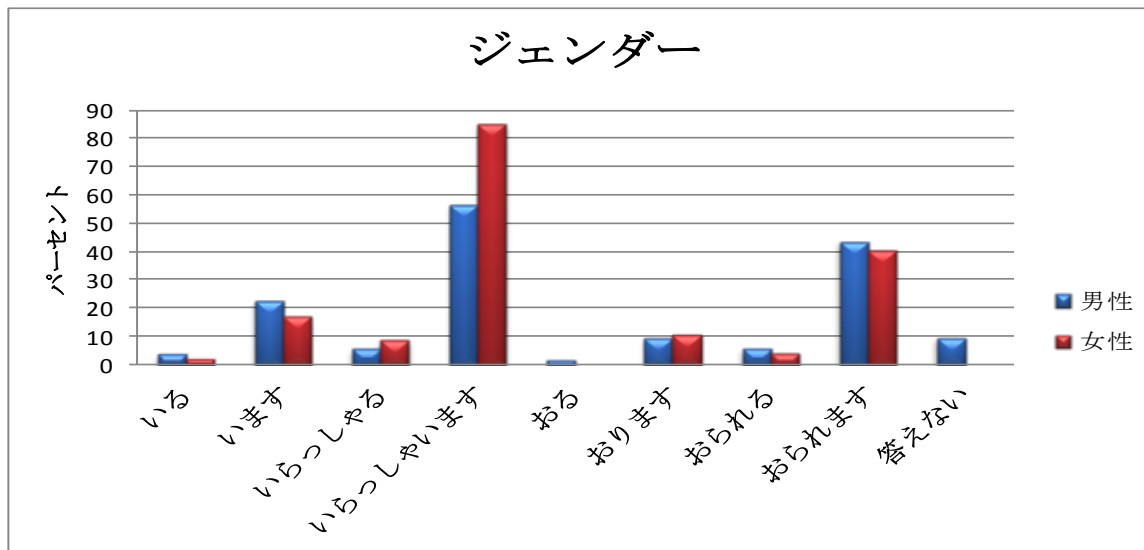


既に述べたように、タイ語の敬語には5つのレベル（「普通」を除けば4つ）があるが、タイ人は生活の中で敬語をおおよそどのような配分で使っているか質問してみた。回答者は男性35名、女性65名である。その中で教師は10名、学生は83名、他の職業（会社員、労働者）は7名である。

すると、学生は5つのレベルのうち3つしか使っていないことが分かる。また女性も3つしか使っていないようだ。「敬意ゼロ／敬意+1／敬意+2」が日常の言葉選びのレンジということになる。

(6) ジェンダーと敬語

図 8 性別によって敬語の選び方に違いがあるか (問 16)

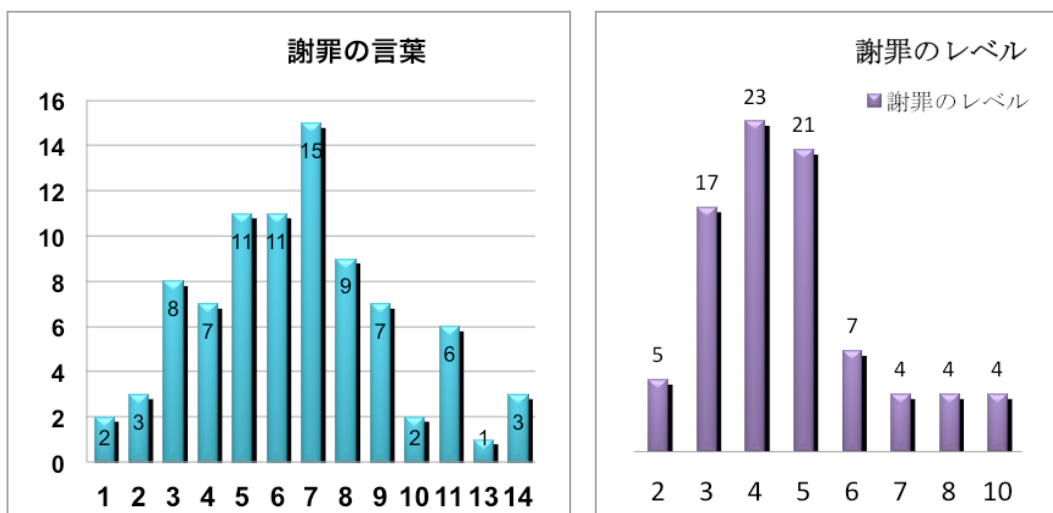


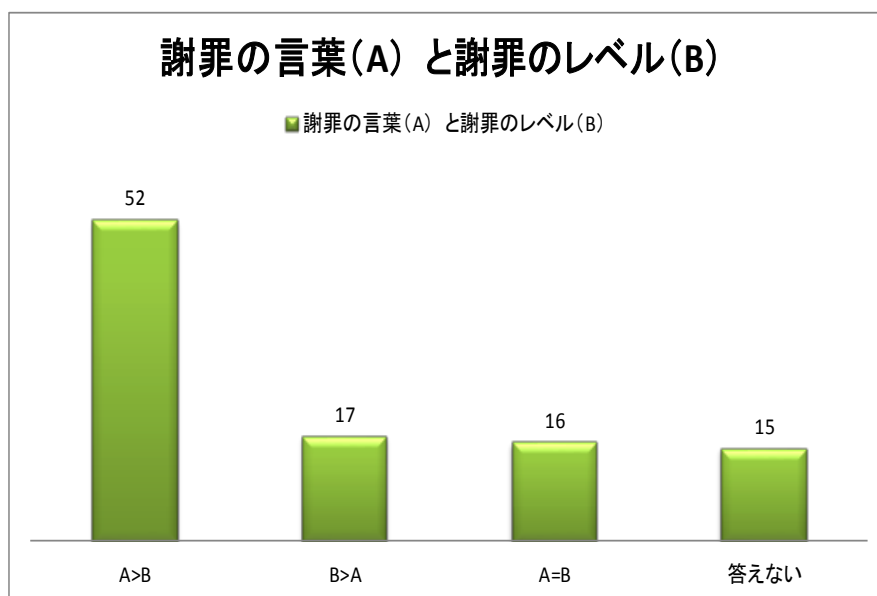
性別によって日本人の答え方がちがうかどうかを知るため、「～先生は部屋にいますか。」と誰かに聞かれた場合、どう答えるか質問してみた。回答者は男性 53 名、女性 47 名である。

すると、「いらっしゃいます」と「おられます」が主だと分かる。また、その二つで、女性は男性より「いらっしゃいます」を選びやすいようだ。どの日本語教科書も敬語として「いらっしゃいます」を教えるが、「おられます」は教えない。それは日本語教科書の執筆者に女性が多いことと関係があるのだろうか。

(7) 敬語と謝罪

図 9 謝罪の言葉と謝罪のレベル (問 15)





ここでは敬語と響き合い、連動する謝罪で使う言葉の数と謝罪のレベルの数がどれくらいあるか質問してみた。謝罪のレベルは普通「軽く簡単に謝る」と「深く謝る」の二つしか区別されていない。客観的にはそれ以上区別しようがない。しかし、回答を見ると、謝罪の言葉を 7 つ使うと答えた人が一番多く、謝罪のレベルでは%の人が 3~5 つと答えている。一方、表では示せないが、謝罪の言葉が 8 つ、謝罪のレベルが 10 と答えた人もいる。

謝罪レベルの数より使う言葉の数の多い人は全体で 52 名いる。年齢が上がるにつれて、謝罪に使う言葉が増えるのは自然だ。一方、使う言葉の数より謝罪レベルの多い人が 17 名いる。

このような言葉の数に一致しない内容は他者（第三者／当事者）には正確に理解できないため、「軽く簡単に謝る」と「深く謝る」とに単純化され、それが「客観的な内容」と扱われる。しかし、言葉の選び方は人間のアナログで不安定な心理を反映するのだろう。

#### 4. おわりに

この研究では、日本語の敬語とタイ語の敬語が実際どのように使われているかを知るためにアンケートを行った。

それにより「ポジティブリスト」と「ネガティブリスト」を見ただけでは分からなかった日本人の敬語のグレーゾーンが見えてきた。

タイ語にはレベルが五つあり、敬語を細かく4つのレベルで選べると言えるが、日常的に使うのは3つのレベルだ。日本語の「丁寧語」「美化語」のようなものではなく、「謙讓語」のような主観的で曖昧な言葉もない。

それに対して日本語は敬意、尊敬を表しているとハッキリわかる「尊敬語」以外にさまざまな言葉で間接的にそれを表したり、それを弱めたりすることが分かった。

二重敬語は「くどい」から使ってはいけない、使わないほうが良いと言われるが、厳密なルールとまでは考えられていないようだ。「くどい」というのは主観的な感じ方で、「くどいくらいでなければいけない」という感じ方をする人は少なくない。お客をもてなす時、ごちそうを食べきれないくらい出さなければいけないと考える国は多いし、日本でもその感じ方は地方によって、個人によって違うはずだ。

## 注

(1) 文化審議会「敬語の指針」

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/hpab200601/column/018.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab200601/column/018.htm)

(2) 和語の例外：ご最前 ごもつとも ごゆっくり ごねんごろ

漢語の例外：お客 お礼 お茶 お茶碗 お洗濯 お掃除 お元気 お勉強 お電話

カタカナの外来語には原則としてつけない。

外来語の例外：おトイレ おビール おズボン

\*\*「おん／み／おみ／御（ぎよ）」を語頭につける。

例：おん身 おん礼 み心 おみ足 おみこし 御製 御物

\*\*「貴（き）／玉（ぎよく）／高（こう）／尊（そん）／芳（ほう）／令（れい）」などを語頭につける。

例：貴社 玉矯 高論 尊父 芳名 令息

\*\*「さん／様／君／殿／氏／女史」などの敬称をつける(主に書簡)。

\*\* 特定の地位・職業の人に対して、それに応じた敬称をつける。

例：「陛下」天皇 皇后 皇太后 外国の国王

「殿下」皇太子 皇太子妃 親王 親王妃 内親王 王 王妃 女王

「閣下」高官、「猊下」高僧

「先生」教育者 医師 政治家

「師」宗教家

「博士」学位保持者

「師匠」伝統芸能の芸人 特に落語家

「文」歌舞伎俳優

「関」力士

「親方」弟子を養成している退役力士

「翁」主として老人

### (3) 王様に対して使う敬語

王様に対して使う言葉はタイ語で「カムラーシャーサブ」という。これは王族にも使える。歴史の中でタイ人はいろんな国から来た外国人と出会ったが、その中のいくつかの言語を神聖で尊いものだと考えた。それは柬埔寨語（カンボジア語）と梵語（サンスクリット語）、パーリ語である。多くの人考えるように「カムラーシャーサブ」は難しく、もちろん宮殿でしか使えないのだが、現在では日常生活でも耳にすることがある。ドラマや映画、ニュース等で使われるからだ。

### 謝辞

本研究で行った調査に協力してくださったタイ人の皆様、広島大学の日本人学生、教職員の皆様、広島大学の留学生の皆様、そして広島大学国際センターの先生方に心より感謝を申し上げます。

### 参考文献／参照情報

浅田秀子（1997）『日本語にはどうして敬語が多いの？』、アリス館

萩野貞樹（2005）『ほんとうの敬語』、PHP新書

扇田浩水（2008）『いろんな人との会話と敬語』、場面で分かる正しいことばづかいと敬語 2、くもん出版

笠井正信（2008）『敬語の5分類とその使い方』、場面で分かる正しいことばづかいと敬語 5、くもん出版

『二重敬語』 <http://liginc.co.jp/life/useful-info/154316>

『タイ語のレベル』 <https://sites.google.com/site/khwamruphasathai/home/10-radab-phas>

『日本語の敬語』

<http://www.levelup99.net/businessmanner/cate3post24.html>

## 補助資料 調査用紙

アンケート調査協力者の皆様

広島大学国際センター外国人研究生

ターゲ・ロッサディー

### 敬語意識に関する調査のお願い

この度は、アンケート調査にご協力くださり、誠にありがとうございます。

私は日本語の敬語意識について研究を行っています。つきましては、みなさまの敬語意識について、お尋ねしたいと思っております。この調査内容と結果は学術目的以外には使用いたしませんので、何卒ご協力くださいますよう、お願いいたします。

#### 【基本情報】

○全員お答えください。

性別 (**Sex**) : **M / F** 年齢 (**Age**) :

学年 (**Year**) : \_\_\_\_\_ 学部 (**Faculty**) :

専攻・コース (**Major**) : \_\_\_\_\_ 出身地 (都道府県) (**Origin**) : \_\_\_\_\_

日本語以外に使える言語 (**Language other than Japanese**) \*を記入し、自己評価を選んでください。

言語	<b>Reading</b> (読む能力)	<b>Writing</b> (書く能力)	<b>Speaking</b> (話す能力)	<b>Listening</b> (聞く能力)
	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>
	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>
	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>
	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>
	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good</b> <b>Poor</b>

留学の経験 (**Overseas exchange experience**) : 有/無

国 (**Country**) : \_\_\_\_\_

留学期間 (**Period of exchange**) :

○日本人ではない方はお答えください。 (**Not Japanese person**)

国 (**Country**) : \_\_\_\_\_

母語・話せる言葉 (**Mother language/others**) \*を記入し、自己評価を選んでください。



言語	<b>Reading</b> (読む能力)	<b>Writing</b> (書く能力)	<b>Speaking</b> (話す能力)	<b>Listening</b> (聞く能力)
	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>
	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>
	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>
	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>
	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>	<b>Excellent</b> <b>Good Poor</b>

日本に滞在した期間 (**Length of stay in Japan so far**) : **Total** \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ ヶ月

答えに○をお付けて下さい。また、下線部にご意見をお書き下さい。

- ① お客と敬語で話すアルバイトをしたことがありますか。

はい                      いいえ

— いいえの方はアルバイトをしたいと思いませんか。

はい                      いいえ

- ② あなたは敬語の使い方について誰かに聞いたり、本やインターネットで調べたりしたことがありますか。

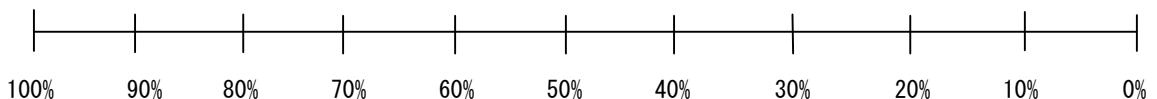
はい                      いいえ

- ③ あなたは自分がどれくらい敬語を知っていると思いませんか。



- ④ 日本人は一日にどれくらい敬語や丁寧な言葉を使っていると思いませんか。

(会話の時間 + 一人で考える時間)



- ⑤ 次のうち敬意を表すと思うものをいくつでも選んでください。

- |               |          |                |          |                |
|---------------|----------|----------------|----------|----------------|
| 「200 円」       | 「200 円だ」 | 「200 円な」       | 「200 円ね」 | 「200 円よ」       |
| 「200 円です」     |          | 「200 円ですね」     |          | 「200 円ですよ」     |
| 「200 円なんです」   |          | 「200 円なんですネ」   |          | 「200 円なんですよ」   |
| 「200 円なのです」   |          | 「200 円なのですネ」   |          | 「200 円なのですよ」   |
| 「200 円であります」  |          | 「200 円でありますネ」  |          | 「200 円でありますよ」  |
| 「200 円でございます」 |          | 「200 円でございますネ」 |          | 「200 円でございますよ」 |

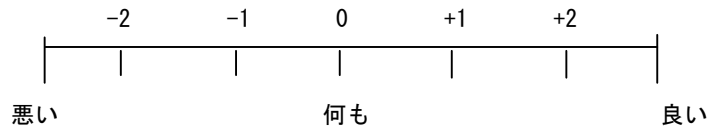
- ⑥ あなたは「二重敬語」というものを知っていますか。また、あなたはそれをどれくらい使いますか。どれくらい耳にしますか。

はい、知っています。      いいえ、知りません。

よく使う    時々使う    たまに使う    めったに使わない    まったく使わない  
分からない

よく聞く    時々聞く    たまに聞く    めったに聞かない    まったく聞かない  
分からない

- ⑦ あなたは他の人が敬語を使い間違えた時、どう感じますか。



いいえ

- ⑧ あなたは初めて会った人には敬語を使いますか。

自分より若い男性に	使う	使わない
自分と同じ年の男性に	使う	使わない
自分より年上の男性に	使う	使わない
自分より若い女性に	使う	使わない
自分と同じ年の女性に	使う	使わない
自分より年上の女性に	使う	使わない
小さな子供に	使う	使わない

- ⑨ あなたは身近な人に敬語を使いますか。

年長の家族に	使う	使わない
年少の家族に	使う	使わない
恋人に	使う	使わない

- ⑩ 初めて会った時、相手があなたに敬語を使うはずだと思っていたのに使わなかったら、どう思いますか。

気にしない      すこし気にする      ムツとする      怒る

- ⑪ 次の三つのうちどれが最も「丁寧」でしょうか。選んでください。

コーヒーを飲みませんか      コーヒーを飲みますか      コーヒーを飲みましょう

- ⑫ つぎの二つの違いは何だと思えますか。（いくつでも選んで下さい）

わたしのものではありません / わたしのものじゃありません

丁寧／普通      古い／新しい      遠慮／親しみ      下手／上手      きれい／きたない  
 書き言葉／話し言葉      ゆっくり／速い      年寄り／若い      フォーマル／カジュアル  
 その他： \_\_\_\_\_

- ⑬ あなたは先生や誰かと敬語を使って話している時に同じ会話の中で「では」と「じゃ」を切り替えて使うことがありますか。

はい                      いいえ

- ⑭ 誰かと喧嘩した時に敬語から普通の言葉に変えることがありますか<sup>①</sup>。また、逆に普通の言葉から敬語に変えることがありますか<sup>②</sup>。それはどうしてですか。

①    はい                      いいえ

②    はい、 \_\_\_\_\_ だから。

わからない。

いいえ

- ⑮ あなたは謝罪する時、どんな表現を使いますか。また謝罪のレベルをいくつぐらい使い分けますか。

**謝罪の言葉：** ゴメン ゴメンなさい 悪い 悪いけど すまん すいません すみません  
申し訳ない 申し訳ありません 申し訳ございません 許して 許してください お許ください  
謝罪します 謝罪いたします 陳謝します 陳謝いたします 恐れ入ります  
その他： \_\_\_\_\_ **\*使ったことがある言葉にいくつでも○をつけて下さい**

0 — 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9 — 10

- ⑯ 「～先生は部屋にいますか。」と誰かに聞かれた場合、あなたはどうか答えますか。

いる います いらっしゃる いらっしゃいます おる おります おられる おられます

その他： \_\_\_\_\_

**\*いくつでも○をつけて下さい。**